

町の教育行政の推進を目指す

鈴木信也氏へ

教育長の辞令交付

6月議会で任命への同意を受けた鈴木信也氏に、6月13日(月)に町長室で辞令交付が行われました。鈴木氏は38年間教職員として勤務し、千葉県船橋市青少年センター所長や船橋市立行田中学校長を勤めるなど、教育行政に明るいという理由から選任されました。教育長は「古里である中泊町をこれからどうするのか、どうしなければいけないのかを考えたとき、



鈴木信也 教育長

旧中里町亀山出身で、教職員として38年間勤務。主に千葉県船橋市を中心とした中学校に勤務。船橋市立飯山満小学校校長、船橋市青少年センター所長、船橋市立行田中学校校長。

簡単にできるものは少なく、難しい課題が山のように迫っている。次の世代に素晴らしい中泊町を残すために、町民の皆様のお声に耳を傾け、これからの町の姿をしっかりと見極め、それに沿った方向性を示すことが肝心だと考えている。町民の皆さんが中泊町に住んでよかったと思えるような教育行政を進めていきたい」と決意を述べました。



辞令交付の様子

最先端の技術に触れる

中里小6年生が
ユビキタス出前講座を受講

次代を担う子どもたちが、最先端の情報通信技術に触れ、体験し、新たな活用方法のアイデアを出し合うワークショップに参加することでICTリテラシーを向上させ、新たな技術を使いこなすスキル、想像力やプレゼンテーション能力を身につけることを目的としたユビキタス出前講座が7月12日(火)に中里小学校で行われました。

この出前講座には6年生が参加し、協力企業のAIやVRなどの最新情報通信機器を体験しました。また、展示されている技術を使ってどんなものがあればいいか考え、三村申吾県知事や大阪大学下條真司教授らの前で発表しました。

大川亜美さんは最先端の情報通信技術を体験してみて「どの体験も面白くて笑顔になった。珍しいVRなどの最新技術を見られて楽しかった」と話しました。





あすなろ自遊モリ森

中里中2年が下刈・補植・測樹体験

中里中2年生が7月4日(月)に袴腰山で1年前に植樹した箇所の下刈と枯れた苗の交換作業、樹木の計測作業を行いました。

下刈作業では、生徒たちが植えた苗木の生長をさまたげている雑草などを刈り払い、樹木の計測作業ではさまざまな計測機器を使い、実際に生えている樹木を計測しました。

生徒たちは「自然を維持するためにどんなことが行われているのか実際に体験してみて、体力が必要で大変だということが分かった」と話しました。

町の未来を自分ゴトとして考える

町長と小・中学生の意見交換会を開催

子ども達が中泊の未来を自分ゴトとして捉え、感じてもらうことにより、郷土愛の醸成や将来的に町へ定着するキッカケづくりの場となることを目的とした町長と小・中学生の意見交換会が7月5日(火)にこどもり学園、7月19日(火)に武田小学校で行われました。

町長から町で行っている事業をくわしく聞いた後、生徒たちから質問を募集し、意見交換を行いました。

この事業は、年内中に町内全ての小・中学校で実施する予定です。



明るい犯罪のない社会に

社会を明るくする運動メッセージ伝達式

犯罪や非行防止などを目的にそれぞれが力を合わせて行われる「社会を明るくする運動」。7月5日(火)に町の保護司会と更生保護女性会が参加し、役場玄関前でメッセージ伝達式が行われました。

伝達式では、法務大臣からのメッセージと県知事からのメッセージを手渡し、

町の協力を要請しました。一行は町内パレードで事務所などを訪れ、運動の啓発活動を行いました。

この運動は「更生保護の日」である7月1日から1か月間を強調・再犯防止啓発月間と位置付けて行われています。



「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰受賞

町長へ受賞報告

小 泊海岸を守る会が7月12日(火)に町長のもとを訪れ、「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰を受賞したことを報告しました。

この賞は自然環境の保全に関する顕著な功績があった人・団体を表彰するもので、小泊海岸を守る会は毎年行っている小泊マリンパークから折腰内海岸、国道339号線の竜泊ラインの清掃運動が認められ受賞しました。

町長は「観光スポットでもある小泊の海や竜泊ラインの自然環境保全に長年ご尽力していただいて感謝します」と感謝の言葉を述べました。



長きにわたるご功労に感謝

長内エツ子さんに法務大臣感謝状

人 権相談や人権の考え方の普及などの活動をする人権擁護委員を務めた長内エツ子さんが委員を退任するにあたって、7月13日(水)に役場町長室で退任人権擁護委員に対する法務大臣感謝状の伝達式が行われました。

町長立ち会いのもと青森地方務局五所川原支局の桜庭秀樹支局長から感謝状が手渡されました。長内さんは平成19年4月1日から令和4年6月30日までの15年と2か月にわたって人権擁護活動に尽力されました。長内さんは「たくさんの人と触れあい、充実した15年だった。ここまで長くできたのも地域の皆さんの支えがあったおかげ」と話しました。

全国での活躍を誓う

中里中陸上部と柔道部・中里誠心塾が全国大会出場を報告

中 里中陸上部が7月20日(水)、柔道部と中里誠心塾が26日(火)に全国中学校体育大会に出場することを町長に報告しました。

選手らは「今まで努力してきた自分に自信をもち、全力で大会に臨む」と意気込みを語りました。

町長は「平常心で臨めるかが勝負の分かれ目になってくると思う。けが無く、楽しむくらいの気持ちで臨んでほしい」とエールをおくりました。



中里中陸上部



中里中柔道部



中里誠心塾